

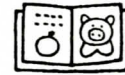


図書館だより 2月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内!

おはなし会 1階・おはなしのへや



2月11日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時~

2月19日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時~

★図書館おはなし会&工作

〈1階・おはなしのへや〉



(日時) 2月25日(土) 午後3時~

(対象) 3歳~小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) おはなしを読んだ後、おり紙でなかよしおひなさまを作ります。



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

2月9日(木) 午前11時~



◆上映会 2階・視聴覚室

2月18日(土) 午後2時~

「坂本龍馬の生涯」 《67分》

“日本を今一度 せんたくいたし申候” 幕末の志士 坂本龍馬が生きた33年の生涯に迫るドキュメンタリーの決定版!

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

伊勢図書館・小俣図書館 どちらでも受け付けております。

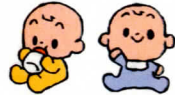
ブックスタートをご存じですか?

ブックスタートとは、赤ちゃんが楽しく心豊かな時間を過ごしてもらうために、一人一人の赤ちゃんに絵本を手渡す運動です。まだお手元がない人は、母子手帳を持って図書館へお越しください!

(なお、ご来館いただけない場合は、1歳6ヵ月健診時にお渡しします)

対象: 伊勢市在住の妊婦さん、赤ちゃんのいるご家庭

赤ちゃんとの幸せな時間に 役立ててください。



開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

2月

3月

Calendar grid for February and March with highlighted dates.

学びなおしの高校日本史

歴史は繰り返す。

わたしたちは、どれだけ時間をかけ、「今」というこの瞬間を生きているのか。過去を知ることは、今を考えること。過去を学ぶことは、未来に備えること。今こそ、その必要性を感じよう。

とき: 2月11日(土・祝) 14:00~

ところ: 2階・会議室

内容: 各時代の主な特色を簡潔にたどります。

定員: 30名(先着順)

申込み: 1月7日(土) から

直接・電話・FAXで小俣図書館へ

講師: 芝崎俊也さん

(三重県生活・文化部 生活・文化総務室)

図書館だより 2月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館 指定管理者/株式会社 図書館流通センター (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35 (電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078 (ホームページ) http://islib.city.ise.mie.jp/

こんにちは、えび いせABちゃんです!

今月は、汚れたり破れたりして貸し出しができなくなってしまった本の展示があります。(詳細は下記参照)物は使えば痛みますが、普通に読んでいたらこうはならないはず…。マナーを守って、気持ちよく本を読みたいですね。



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日

午後2時30分~

《場所》1階・おはなしコーナー

2月4日/おにいさん、おねえさん によるおはなし会 2月11・18・25日/おはなしプーさん によるおはなし会

えほんのよみかかせや、かみしばいなど☆



「上映会」

《日時》2月12日(日) 午後1時30分~

《場所》2階・視聴覚室

『ムーン谷の彗星』

怖い星のうわさを聞いたムーンたちは、おさびし山の天文台にむかいます!スナフキンやフーレンとの出会いも描かれた、心温まる物語。

〈アニメーション〉〈上映時間 62分〉



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》2月23日(木) 午前11時~

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手遊びなどをします♪

あかちゃんえほんのじかんは、毎月第4木曜日です★

* おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会 は、申込不要です。どうぞお気軽にご参加ください。



「施設抽選会 (4月~6月分)」

《日時》2月3日(金) 午前10時~

(受付は午前9時50分~)

《場所》2階・視聴覚室



「汚損・破損した本の展示」

《内容》汚損・破損して修理が必要になった本や、貸し出しできなくなった本を展示します。

《日時》2月11日(土・祝) ~ 21日(火)

《場所》2階・展示ホール



「リサイクルフェア」

《内容》保存期間を過ぎた雑誌(100種類以上・約2,000冊)や、図書(約6,500冊)をリサイクルします。

《日時》3月3日(土) 午前9時30分~午後3時 3月4日(日) 午前9時~午後3時

《場所》2階・視聴覚室

《整理券配布日時》2月25日(土) 午前9時から

《整理券配布人数》120名(先着順)

【入場・冊数制限について】

※3日(土)の午前11時までは、事前に配布の整理券の順に、入場制限を行います。また、お持ちいただける冊数は、1人につき10冊まで(うち雑誌は5冊まで)です。

※3日(土)午前11時以降、4日(日)は、入場・冊数とも制限はありません。

開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週水曜日・第2金曜日・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)



伊勢図書館・休館日カレンダー

2月

3月

Calendar grid for February and March with highlighted dates.

本のごあんない

〔一般書〕 未来永劫 ～ 五穀豊穰を祈る ～

淡雪が春の訪れを感じさせる頃…、初詣の人々の賑わいが落ち着く2月半ば、伊勢神宮では「祈年祭」～としごいのまつり～が行われます。「祈年祭」の“年”の字は“稲”の美称であり、毎年2月17日春の耕作始めの時期を前に、五穀豊穰を祈る重要な神事の一つです。

山見れば 高く貴し
河見れば さやけく清し
湊なす 海も広し
『万葉集 卷十三』

神宮で行われている年間1,500回の祭事の根底に流れているものがあります。それは古来、日本人が営んできた農耕を基盤とした国の平安への祈り、そして命の糧をもたらす自然を司る感謝のこころです。

伊勢の地の豊かな自然の中で、神宮は生命と生活をつなぐ祈りを重ねつづけています。

- ◎ 伊勢神宮 日本人のこころのふるさと (kankan/写真 JTBパブリッシング)
- ◎ 伊勢の神宮 祈りの心・祭りの日々 日本人の原点回帰を求めて (南里空海/著 世界文化社)

〔児童書〕 いっしょにあそぼう!

本で、あそぼう! 本と、あそぼう!! 本から、あそぼう!!!
「みんな いっしょに、あそぼうよ。」

- ★ せんをたどって (ローラ・ユンクヴィスト/さく ふしみみさを/やく 講談社)
- ★ とんでもないおいかけっこ (クレメント・ハード/作 江國香織/訳 BL出版)
- ★ おかあさんといっしょ 3～5才のおりがみ みんなで選んだおりがみ大集合! (小林一夫/著 高橋書店)
- ★ わずくん とらくんの さむいさむいさむい (たのししまこ/さく・え 福音館書店)
- ★ おたよりください (シャスティン・スンド/作 木村由利子/訳 アンジェリカ・セラノ=フネル/絵 大日本図書)

〔ヤングアダルト〕 ニャン・ニャン・ニャン

2月22日は、ニャン・ニャン・ニャン、ネコの日です。
ネコは気まぐれでマイペース、そして名前の由来とまで言われるほど寝ることが大好き!!
そんな不思議なネコの魅力にはまってみませんか?

〔一般書〕

- ねこのことわざえほん (高橋和枝/著 ハッピーオウル社)
- ネコ立ちあがる (岩合光昭/著 日本出版社)
- ねこ鍋 公式写真集 (講談社 MouRa/著・編 講談社写真部/写真 講談社)
- 図書館ネコデューイ 町を幸せにしたトラねこの物語 (ヴィッキー・マイロン/著 羽田詩津子/訳 早川書房)

〔児童書〕

- 100万回生きたねこ (佐野洋子/作・絵 講談社)

★【ヤングアダルト】とは
中・高生の読者に対して使われている言葉です。
こちらでは、十代の若い世代におすすめの本を紹介しています。

★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。



雪裏清香



如月 kisaragi

- 一、寒さのために衣を重ねるところから、キサラギ・キヌサラギ(衣更着)の義。
—「きむくてさらにきぬをきれば」—『奥義抄』
- 二、陽気が発達する時節であるところから、キサラキ(気更来)の義。
—「気更に来るの義、陽気の発達する時也。」—『和訓栞』

『和訓栞』は、我が国で初めて五十音順に並べられた国語辞典で、谷川士清によってつくられた。
士清が生まれた津市に所在する結城神社は、「建武新政」の樹立に貢献した結城宗広公が祀られており、二月から三月、境内がしだれ梅で埋め尽くされ圧巻である。

かぐわしい芳香をただよわせ、春の訪れを予感させる可憐な梅の花。

伊勢にも、梅が咲き誇る場所がある。御菌町新開地区の「臥龍梅公園」である。

臥龍梅は、龍が横たわる姿からその名がついたもので、全国各地に存在する。
御菌の臥龍梅は、ひとつの花に雌しべを多数もち、実を多く結ぶという珍しいもので、人が車座になって話をしているように見えることから、「座論梅」「八房の梅」とも呼ばれる。
現在、梅園の前には菅原神社が建てられており、菅原道真公の座像が祀られている。
道真はこよなく梅を愛した。
御菌の臥龍梅の由来は、『勢陽五鈴遺響』に神秘的な伝説として記されている。

—九州に左遷された道真は、側近・今村刑部師親に愛する梅を託し、伊勢神宮に代参させた。
師親が疲れて一眠りした夢に白髪の老翁が現れ、「梅を植えるのはこの地に」と諭すお告げによって植樹した。—

中国には梅の香りが、学問が栄えるときによりかぐわしくなるという故事があり、梅の花は別名「好文木」と呼ばれていた。若き日の道真の学び舎にも梅があり、その芳香は自らの精神を大きく養ったと道真は自著『管家文草』に記している。

道真が左遷先の九州に向かって出発するとき、家の庭の梅花に向かって詠んだ歌はあまりにも有名である。

東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ

- 御菌村誌 (御菌村誌編纂室/編纂 御菌村 L243/ミ)
- 勢陽雑記 (山中為綱/著 三重県郷土資料刊行会 L290/ヤ)
- 勢陽五鈴遺響 5 (安岡親毅/著 三重県郷土資料刊行会 L290/ヤ/5)
- 三重県植物誌 上巻 (伊藤武夫/著 三重県植物誌発行所 L472/1/1)